

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第 72 回研究会開催案内

日時： 平成25年1月25日(金) 18:30 — 20:30

場所： エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：立命館大学政策科学部教授 仲上健一(なかがみけんいち)氏

略歴：1976年京都大学大学院工学研究科衛生工学専攻博士課程中途退学後、京都大学経済研究所助手を経て、現在立命館大学政策科学部教授。研究領域は、気候変動への戦略的適応策、サステナビリティと水資源環境管理、アジアの水資源・環境問題とウォーター・セキュリティ。学会・研究会活動として、学会連携・震災対応プロジェクト呼びかけ人代表、国際公共経済学会会長、環境技術学会副会長、水資源・環境学会理事、温泉学会理事、政策情報学会顧問。社会的活動として、別府 ONSEN ツーリズム大使、(社)サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム理事、(社)海外環境協力センター理事、公益財団法人大林財団理事、(社)世界貿易センター理事、(社)先端技術産業戦略推進機構審議役、(社)公共ネットワーク機構顧問、大分県国内クレジット等利用促進協議会会長等。参議院調査会「国際・地球環境・食糧問題に関する調査会」参考人として、(平成24年4月18日)「アジアの水問題への取組の課題-メコン河流域開発問題-」を報告。主要著書『水危機への戦略的適応策と統合的水管理』、技報堂出版、2011年、『サステナビリティと水資源環境』、成文堂、2008年、他35冊。

テーマ：「メコン河流域開発と環境問題～インドシナの東西・南北回廊の発展の可能性」

概要：チャイナ・プラス・ワンでアセアンのポジションが大きく拡大し、中国の西部大開発で雲南省と広西壮族自治区の発展とインドシナ半島との経済的・地政学的つながりが重視される中で、「新・新興国」として CLMV 諸国にも大きな関心が集まっている。とりわけ、この地域を縦断して流れる「メコン川」が物流の大動脈として地域経済発展に果たす役割は大きいと考えられる。しかし一方で、対応を間違えば、気候変動やダム建設などの影響で甚大な環境問題を引き起こす危険も孕んでいる。大きな発展が期待されるこの地域だが、日本の ODA 支援や貿易や直接投資はまだ小さく、中国等に比べて存在感が小さいという現実がある。日本や日本企業がこの地域とどのような連携を行っていいのか、それがどのような地域貢献につながっていくのかが改めて問われている。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費 1000 円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会